

町制施行80周年を迎えて



木古内町長

鈴木 慎也

木古内町は、昭和17年10月に町制を施行し、本年80周年を迎えます。

当町は、山と海に囲まれた自然豊かな町です。明治19年に旧庄内藩士が移住したことから、当町の農業は栄え、先人たちが明日の繁栄を願い耕した大地は現在へと継承され、「はこだて和牛」や「みそぎの舞」など当町自慢の特産品が生まれています。

また、平成28年3月の北海道新幹線開業や令和4年3月からの高規格幹線道路函館・江差自動車道「木古内IC」の供用開始に伴い、函館圏から道南への移動時間が大幅に短縮され、道南交通の要衝としての役割が益々大きくなり、さらなる観光の振興・発展が期待されます。

これからも先人たちが長年にわたって築き上げてきた歴史と伝統、木古内の魅力を大切に守りながら、将来を担う子どもたちに継承し、郷土に対する愛着や誇りを育みつつ、さらに発展させ次の世代につないでいく。「今と未来のために持続可能なまちづくり」を目指していきます。

2022年（令和4年）10月1日に、木古内町の町制がスタートして80周年を迎えます。これを記念して、8月号から3回にわたり、70周年から80周年までの10年間をちよっと懐かしい写真で振り返ります。それでは、最後となる3回目の今月号は2019年（令和元年）から2021年（令和3年）まで。

2019年（令和元年）

① 鶴岡市・木古内町姉妹都市盟約30周年記念式典
山形県鶴岡市と木古内町の姉妹都市盟約30周年を記念し、鶴岡市で記念式典が行いました。



2020年（令和2年）

② 前人未到の3連覇 道の駅が「道の駅満足度ランキング2020」総合1位を獲得
3月20日に道の駅「みそぎの郷きこない」が観光情報誌「北海道じゃらん」令和2年4月号において、道内124ある道の駅の中で3年連続総合1位となりました。

